

阪神大水害から80年 ～個人の記憶を社会の記憶に～ デジタルアーカイブ公開イベント開催しました。

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

本年は、六甲山麓に甚大な被害をもたらした阪神大水害(昭和13年)から80年目になることから、教訓を次世代に継承するため、当時の記録・記憶を募集し、提供いただいた資料や体験談を、インターネットから閲覧できる「阪神大水害デジタルアーカイブ」として取りまとめ、公開を記念してイベントを開催しました。

概要

日時：平成30年11月24日(土) 13:30～16:30
 場所：兵庫県看護協会「ハーモニーホール」
 主催：六甲砂防事務所、兵庫県、神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、神戸新聞社、有識者
 参加者数 約340名

イベントでは、主催、来賓のご挨拶、沖村名誉教授による講演のあと、吉田さん、坂田さんの当時の災害体験談や、中高生が「私たちが知ることのできた阪神大水害」として実施した調査活動の報告、浦川准教授による「阪神大水害デジタルアーカイブ その意義と活用に向けて」の講演が行われました。

イベントの様子は当日夕方～夜のテレビニュースでも取り上げられました。



石塚砂防施設評価分析官



兵庫県伊藤技監



久元神戸市長



盛山衆議院議員



講演 沖村 孝
(神戸大学名誉教授)



講演 浦川 豪
(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・准教授)



住吉中学校による研究発表



吉田規代子氏、坂田 栄氏
体験談



情報提供物展示

阪神大水害デジタルアーカイブ
 ※インターネットでご覧頂けます



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 TEL：078-851-0535

